

平成 27 年 9 月 16 日

気象庁予報部予報課

## 「警報級の可能性（明後日以降）」XML の解説

### 1 全体構成

Report

Control	管理部
Head	ヘッダ部
Body	内容部

## 2 各部の構成と内容

### (1) 管理部

#### 管理部 (Control) の構成と内容

タグ	内容	解説
Control		
Title	情報名称	電文の種別を示すための情報名称を示す。“警報級の可能性(明後日以降)”で固定。
DateTime	発表時刻	発表時刻。未来時刻にはならない。 “2008-06-26T01:51:00Z”のように協定世界時で記述する。
Status	運用種別	本情報の位置づけ。“通常”“訓練”“試験”のいずれかを記載。“訓練”“試験”は正規の情報として利用してはならないことを示す。
EditorialOffice	編集官署名	実際に発表作業を行った「編集官署名」を示す。“気象庁本庁”“大阪管区气象台”のように記述する。
PublishingOffice	発表官署名	本情報を業務的に発表した「発表官署名」を示す。“気象庁予報部”“大阪管区气象台”のように記述する。

## (2) ヘッダ部

### ヘッダ部 (Head) の構成と内容

タグ	内容	解説
Head		
Title	標題	情報を示す標題。具体的な内容が判別できる名称であり、可視化を目的として利用する。“ 警報級の可能性 (明後日以降)” ( は府県予報区名) と記述する。
ReportDateTime	発表時刻	本情報の公式な発表時刻を示す。“ 2008-06-26T11:00:00+09:00 ” のように日本標準時で記述する。
TargetDateTime	基点時刻	本情報の対象となる時刻・時間帯の基点時刻を示す。“ 2008-06-28T00:00:00+09:00 ” のように日本標準時で記述する。
TargetDuration	基点時刻からの取りうる時間	情報の対象が時間幅を持つ場合、TargetDateTime を基点とした時間の幅を示す。“ P4D ” で、「基点時刻」から 4 日先までの予報であることを示す。
EventID	識別情報	警報級の可能性 (明後日以降) では要素内に何も記述しない。
InfoType	情報形態	本情報の形態を示す。“ 発表 ” “ 訂正 ” “ 遅延 ” のいずれかを記述する。
Serial	情報番号	警報級の可能性 (明後日以降) では要素内に何も記述しない。
InfoKind	スキーマの運用種別情報	同一スキーマ上における情報分類に応じた運用を示す種別情報である。“ 警報級の可能性 (明後日以降)” と記述する。
InfoKindVersion	スキーマの運用種別情報のバージョン	スキーマの運用種別情報におけるバージョン番号を示す。本解説のバージョン番号は “ 1.2_0 ”。
Headline	見出し要素	防災気象情報事項となる見出し要素を示す。警報級の可能性 (明後日以降) では何も記述しない。
Text	見出し文	警報級の可能性 (明後日以降) では要素内に何も記述しない。

(3) 内容部

内容部 ( Body ) の構成と内容

タグ	内容	解説
Body		
MeteorologicalInfos	予報の項目	警報級の気象現象が発生する可能性を記述する。
TimeSeriesInfo	時系列情報	MeteorologicalInfos の予報を時系列情報として記述する。

内容部の個別要素の詳細

1 「警報級の可能性の予想」の詳細

タグ	内容	解説
TimeSeriesInfo	時系列情報	
TimeDefines	時系列の時刻定義セット	予報の対象期間を示すとともに、対応する要素の timeId を記述する。
TimeDefine	個々の時刻定義	同一 TimeSeriesInfo 内にある要素の ID(refID) に対応する ID(timeId) を記述する。
DateTime	基点時刻	予報対象日について記述する。予報対象日の開始時刻を示す。“2008-06-28T00:00:00+09:00” のように日本標準時で記述する。
Duration	対象期間	予報の対象期間を示す。値「P1D」で、1日を対象とした予報であることを示す。
Item		警報級の可能性の予報と、予報区を記述する。府県予報区に含まれる発表予報区の数だけ繰り返す。 1 - 1 「警報級の可能性」の詳細を参照。

1 - 1 「警報級の可能性」の詳細

タグ	内容	解説
Item	予報の内容	
Kind	個々の予報の内容	予報を記述する。
Property	予報要素	予報要素を記述する。
Type	気象要素名	気象要素名を記述する。Type の値は“雨の警報級の可能性”。
PossibilityRankOfWarningPart	警報級の可能性	「雨の警報級の可能性」の階級値（1 - 2 参照）を記述する。 1 - 1 - 1 「雨の警報級の可能性」の詳細を参照。属性 refID は、予報対象日の参照番号を記述する。TimeDefines で定義した timeId に対応する。
Kind	個々の予報の内容	予報を記述する。
Property	予報要素	予報要素を記述する。
Type	気象要素名	気象要素名を記述する。Type の値は“雪の警報級の可能性”。
PossibilityRankOfWarningPart	警報級の可能性	「雪の警報級の可能性」の階級値（1 - 2 参照）を記述する。 1 - 1 - 2 「雪の警報級の可能性」の詳細を参照。属性 refID は、予報対象日の参照番号を記述する。TimeDefines で定義した timeId に対応する。
Kind	個々の予報の内容	予報を記述する。

Property	予報要素	予報要素を記述する。
Type	気象要素名	気象要素名を記述する。Type の値は“ 風（風雪）の警報級の可能性 ”。
PossibilityRankOfWarningPart	警報級の可能性	「風（風雪）の警報級の可能性」の階級値（ 1 - 2 参照）を記述する。 1 - 1 - 3 「風（風雪）の警報級の可能性」の詳細を参照。属性 refID は、予報対象日の参照番号を記述する。TimeDefines で定義した timeId に対応する。
Kind	個々の予報の内容	予報を記述する。
Property	予報要素	予報要素を記述する。
Type	気象要素名	気象要素名を記述する。Type の値は“ 波の警報級の可能性 ”。
PossibilityRankOfWarningPart	警報級の可能性	「波の警報級の可能性」の階級値（ 1 - 2 参照）を記述する。予報対象地域で波浪警報等の運用を行っていない場合は、Kind 以下を省略する。 1 - 1 - 4 「波の警報級の可能性」の詳細を参照。属性 refID は、予報対象日の参照番号を記述する。TimeDefines で定義した timeId に対応する。
Kind	個々の予報の内容	予報を記述する。
Property	予報要素	予報要素を記述する。
Type	気象要素名	気象要素名を記述する。Type の値は“ 潮位の警報級の可能性 ”。
PossibilityRankOfWarningPart	警報級の可能性	「潮位の警報級の可能性」の階級値（ 1 - 2 参照）を記述する。予報対象地域で高潮警報等の運用を行っていない場合は、Kind 以下を省略する。 1 - 1 - 5 「潮位の警報級の可能性」の詳細を参照。属性 refID は、予報対象日の参照番号を記述する。TimeDefines で定義した timeId に対応する。
Area	対象地域	予報対象地域を記述する。
Name	対象地域の名称	予報対象地域（予報区）の名称を記述する。
Code	対象地域のコード	予報対象地域（予報区）のコードを記述する。

### 1 - 1 - 1 「雨の警報級の可能性」の詳細

例	解説
<pre>&lt;PossibilityRankOfWarningPart&gt; &lt;jmx_eb:PossibilityRankOfWarning refID="1" type="雨の警報級の可能性"&gt;中&lt;/jmx_eb:PossibilityRankOfWarning&gt; &lt;jmx_eb:PossibilityRankOfWarning refID="2" type="雨の警報級の可能性" condition="値なし" /&gt; &lt;jmx_eb:PossibilityRankOfWarning refID="3" type="雨の警報級の可能性"&gt;高&lt;/jmx_eb:PossibilityRankOfWarning&gt; &lt;jmx_eb:PossibilityRankOfWarning refID="4" type="雨の警報級の可能性"&gt;中&lt;/jmx_eb:PossibilityRankOfWarning&gt; &lt;/PossibilityRankOfWarningPart&gt;</pre>	<p>type には “ 雨の警報級の可能性 ” と記載する。</p> <p>警報級の可能性 ( 1 - 2 ) は「高、中、なし」などの文字列で記載する。それ以外の場合は空タグとし、condition に “ 値なし ” と記載する。*注</p>

### 1 - 1 - 2 「雪の警報級の可能性」の詳細

例	解説
<pre>&lt;PossibilityRankOfWarningPart&gt; &lt;jmx_eb:PossibilityRankOfWarning refID="1" type="雪の警報級の可能性"&gt;なし&lt;/jmx_eb:PossibilityRankOfWarning&gt; &lt;jmx_eb:PossibilityRankOfWarning refID="2" type="雪の警報級の可能性"&gt;なし&lt;/jmx_eb:PossibilityRankOfWarning&gt; &lt;jmx_eb:PossibilityRankOfWarning refID="3" type="雪の警報級の可能性"&gt;なし&lt;/jmx_eb:PossibilityRankOfWarning&gt; &lt;jmx_eb:PossibilityRankOfWarning refID="4" type="雪の警報級の可能性"&gt;なし&lt;/jmx_eb:PossibilityRankOfWarning&gt; &lt;/PossibilityRankOfWarningPart&gt;</pre>	<p>type には “ 雪の警報級の可能性 ” と記載する。</p> <p>警報級の可能性 ( 1 - 2 ) は「高、中、なし」などの文字列で記載する。それ以外の場合は空タグとし、condition に “ 値なし ” と記載する。*注</p>

### 1 - 1 - 3 「風 ( 風雪 ) の警報級の可能性」の詳細

例	解説
<pre>&lt;PossibilityRankOfWarningPart&gt; &lt;jmx_eb:PossibilityRankOfWarning refID="1" type="風 ( 風雪 ) の警報級の可能性" condition="値なし" /&gt; &lt;jmx_eb:PossibilityRankOfWarning refID="2" type="風 ( 風雪 ) の警報級の可能性"&gt;中</pre>	<p>type には “ 風 ( 風雪 ) の警報級の可能性 ” と記載</p>

<pre> &lt;/jmx_eb:PossibilityRankOfWarning&gt; &lt;jmx_eb:PossibilityRankOfWarning refID="3" type="風（風雪）の警報級の可能性"&gt;高 &lt;/jmx_eb:PossibilityRankOfWarning&gt; &lt;jmx_eb:PossibilityRankOfWarning refID="4" type="風（風雪）の警報級の可能性"&gt;中 &lt;/jmx_eb:PossibilityRankOfWarning&gt; &lt;/PossibilityRankOfWarningPart&gt; </pre>	<p>する。</p> <p>警報級の可能性（ 1 - 2 ）は「高、中、なし」などの文字列で記載する。それ以外の場合は空タグとし、conditionに“値なし”と記載する。*注</p>
---	--

#### 1 - 1 - 4 「波の警報級の可能性」の詳細

例	解説
<pre> &lt;PossibilityRankOfWarningPart&gt; &lt;jmx_eb:PossibilityRankOfWarning refID="1" type="波の警報級の可能性" condition="値なし" /&gt; &lt;jmx_eb:PossibilityRankOfWarning refID="2" type="波の警報級の可能性"&gt;中&lt;/jmx_eb:PossibilityRankOfWarning&gt; &lt;jmx_eb:PossibilityRankOfWarning refID="3" type="波の警報級の可能性"&gt;高&lt;/jmx_eb:PossibilityRankOfWarning&gt; &lt;jmx_eb:PossibilityRankOfWarning refID="4" type="波の警報級の可能性"&gt;中&lt;/jmx_eb:PossibilityRankOfWarning&gt; &lt;/PossibilityRankOfWarningPart&gt; </pre>	<p>type には“波の警報級の可能性”と記載する。</p> <p>警報級の可能性（ 1 - 2 ）は「高、中、なし」などの文字列で記載する。それ以外の場合は空タグとし、conditionに“値なし”と記載する。*注</p>

#### 1 - 1 - 5 「潮位の警報級の可能性」の詳細

例	解説
<pre> &lt;PossibilityRankOfWarningPart&gt; &lt;jmx_eb:PossibilityRankOfWarning refID="1" type="潮位の警報級の可能性" condition="値なし" /&gt; &lt;jmx_eb:PossibilityRankOfWarning refID="2" type="潮位の警報級の可能性"&gt;中&lt;/jmx_eb:PossibilityRankOfWarning&gt; &lt;jmx_eb:PossibilityRankOfWarning refID="3" type="潮位の警報級の可能性"&gt;中&lt;/jmx_eb:PossibilityRankOfWarning&gt; &lt;jmx_eb:PossibilityRankOfWarning refID="4" type="潮位の警報級の可能性"&gt;中&lt;/jmx_eb:PossibilityRankOfWarning&gt; &lt;/PossibilityRankOfWarningPart&gt; </pre>	<p>type には“潮位の警報級の可能性”と記載する。</p> <p>警報級の可能性（ 1 - 2 ）は「高、中、なし」などの文字列で記</p>



	載する。それ以外の場合は空タグとし、conditionに“値なし”と記載する。*注
<jmx_eb:PossibilityRankOfWarning refID="1" type="潮位の警報級の可能性" condition="提供なし"/>	なお、潮位の警報級の可能性は当面提供しないため、conditionに“提供なし”と記載する。

1 - 2 「警報級の可能性」の階級値

階級値*注	解説
高	警報級の現象が発生する可能性が高いことを示す。
中	警報級の現象が発生する可能性があることを示す。
なし	季節的に現象が発生しないことを示す。

\*注：警報級の可能性の「高」「中」等の表現については、暫定的なもので、今後変更する可能性もある。